

第1学年O組 英語科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時（英語教室）

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 Unit 1 New School, New Friends

2 単元の目標

- (1) be動詞と一般動詞、助動詞canを用いた文の形・意味・用法や、その疑問文と答え方を理解することができる。さらに、互いを知るために、自分のことを伝えたり、相手のことを尋ねたりすることができる。
- (2) be動詞と一般動詞、助動詞canを用いて、即興で自分のことを伝えたり、相手のことを尋ねたりすることができる。
- (3) be動詞と一般動詞、助動詞canを用いて、互いのことを知るために、自分のことや相手のことについて、即興でコミュニケーションを行おうとする。

3 学習の計画 (6時間完了)

- 第1時 be動詞と一般動詞の用法を学習し、名前や好きなものなどについて伝え合う活動に取り組む。
- 第2時 be動詞と一般動詞の疑問文とその応答について学習し、出身地や好きなスポーツについて尋ねる活動に取り組む。
- 第3時（本時） 助動詞canを学習し、できることやできないことについて尋ねたり答えたりする活動に取り組む。
- 第4時 学習事項を用いて、自己紹介の文を考える活動に取り組む。
- 第5時 学習事項を用いて、パフォーマンステストに取り組む。
- 第6時 学習事項をまとめ、単元テストに取り組む。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
  - できることやできないことを尋ねたり答えたりすることができる。
- (2) 準備・資料
  - 教師……電子黒板、タブレット
- (3) 関 連
 

小5 英語 Unit4 He can bake bread well. (身近な人を紹介する)
- (4) 学習過程

段 階	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項
導 入	1 挨拶をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業前から英語の音楽を流しておくことで、英語学習への意欲を高め、学習する雰囲気づくりをする。</li> <li>○天候や日付など、簡単な質問に答えさせる。</li> <li>○タブレットを使って生徒が普段行っているスポーツや楽器の画像を見せ、口頭で英問英答を行う。</li> <li>○教科書のイラストについて、学習課題を用いて生徒に尋ね、英語で答えさせる。</li> <li>○教科書を持って教室内を周り、友達と会話活動をさせる。</li> <li>○本時の課題を伝える。</li> </ul>
	2 前時の復習をする。		
	3 本時の学習課題をつかむ。 ○ Enjoy Communicationを行う。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書のイラストについて、学習課題を用いて生徒に尋ね、英語で答えさせる。</li> <li>○教科書を持って教室内を周り、友達と会話活動をさせる。</li> <li>○本時の課題を伝える。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     できることやできないことについて尋ねたり答えたりしよう。                 </div>		
	4 基本表現の学習をする。 ○助動詞canと、その疑問文の形・意味		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Enjoy Communication で会話した文を</li> </ul>

言語材料の理解・練習	<p>・用法を知る。</p> <p>5 本文の学習をする。</p> <p>(1) イラストを見ながら本文の内容に関する口頭導入を聞き、概要をつかむ。</p> <p>(2) 新出語句の発音練習と意味の確認をする。</p> <p>(3) イラストだけを見ながら本文を聞いて、内容を確認する。</p> <p>(4) ペアで本文の意味を確認する。</p> <p>(5) 本文の音読練習をする。</p> <p>・役割読み、ジェスチャー読みなどを行う。</p>	25	<p>用いて、助動詞canについて説明する。</p> <p>○ 一般動詞との違いや、助動詞の説明にも触れておく。</p> <p>○ イラストやジェスチャーを用いながら、英語で口頭導入を行う。</p> <p>○ 事前に巻末資料で発音のポイントを押さえておき、教師の口元や舌の動きを示してまねをさせる。</p> <p>○ Unit 0 で学習した音の連結を確認する。</p> <p>○ Can you に注目をさせ、メグができることとできないことを聞き取らせる。</p> <p>○ ペアで文章を読み合い、内容を細かく確認させる。</p> <p>○ 内容に関して簡単なクイズを出題する。</p> <p>○ さまざまな方法で繰り返し音読練習をさせる。</p>
	<p>6 対話活動に取り組む。</p> <p>(1) 友達に尋ねたい内容を考え、ノートに書く。</p> <p>(2) 書いた文章を基に、ペアや級友との会話活動に取り組む。</p>	45	<p>○ 友達の隠れた特技を探るために尋ねてみたい質問を考え、ノートに書かせる。</p> <p>○ 書いた内容を基にペアで尋ね合わせ、互いに友達の答えを書き取らせる。</p> <p>○ 学級全体で会話活動に取り組ませる。</p> <p>○ たくさんの友達に尋ねた結果をノートに書かせ、教師に提出させる。</p> <p>評助動詞canの疑問文を用いて尋ねたり、それに対して答えたりしている。 (対話活動、ノート)</p>
	<p>7 本時を振り返る。</p> <p>(1) 助動詞canの肯定文や疑問文とその応答の仕方を再確認する。</p> <p>(2) 次時の予告を聞く。</p>	50	<p>○ タブレットを使って、口頭で確認する。</p> <p>○ 本時の生徒自身の学習に向かう力について、自己評価を行わせる。</p> <p>○ 自己紹介の原稿を書く活動に取り組むことを伝える。</p>

(5) 本時の評価規準

- 友達ができることやできないことについて関心をもち、それについて尋ねたり、友達から尋ねられたことに対してジェスチャーを用いて答えたりしている。(対話活動、ノート)

## 5 備考

### (1) 学級の実態

- 生徒は英語の学習に対して意欲的で、級友との話し合い活動や発音練習などに主体的に取り組む様子が見られる。しかし、決められた活動に対しては積極的に取り組めるが、自分の言葉として話すことには、間違えることに対する恥ずかしさから、萎縮してしまう生徒もいる。

### (2) 指導の力点

- 本時の学習課題をつかませる際に、タブレットやデジタル教科書を用いて視覚的に新出表現に触れさせ、生徒の学習意欲を喚起させる。また、コミュニケーション活動中には、机間指導をしながら生徒の知識への理解度や学習に向かう力を把握し、的確なアドバイスをする。

## 6 指導と評価